



## SAS® ENTERPRISE GRC

### 全社規模の連携で確かな信用を構築

#### 主な機能

SAS® Enterprise GRCは、リスク・エクスポージャーとその開示を早期かつ体系的に管理することで、全社的にガバナンスと信用を強化します。適用されるあらゆる法律、規制、ポリシーへの違反の検知と防止を支援するほか、企業戦略を自社のリスク管理方針、主要なステークホルダーの期待、対外的な責務などと確実に連携できるように支援します。

#### ビジネスメリット

GRCプロセスを戦略定義や戦略実行のプロセスと統合することにより、ビジネス目標をより着実に達成できるようになります。主要なGRCプロセスを自動化して作業の重複やプロセスの複雑性を減らし、また、潜在的な問題の早期発見を可能にすることで、好ましくない事態(事務ミスや事故など)が突発する可能性を減らしながら組織の効率を向上できます。

#### 対象ユーザー

リスク管理責任者、コンプライアンス担当責任者、社内外の監査担当者、経営企画担当責任者、GRCプロセスの情報入力または実行を担当するビジネスユーザー、IT管理者、事業部長、経営幹部向けに開発されました。

これまで多くの企業では、さまざまな部署が個別のリスク管理フレームワークやシステムを採用しており、部署内でリスク関連の情報が分断されていました。その結果、リスク情報を集約し、企業が抱える各種のリスク・エクスポージャーについて正確な全体像を得ることは困難でした。

また、こうしたリスク・エクスポージャーの全体像の開示を求める取締役会、規制当局、格付け機関などからのプレッシャーは高まるばかりです。しかし、中堅企業や大企業のほとんどは、いくつもの規制制度に対応するために複数のコンプライアンス・プロセスおよびシステムを運用しており、自社のコンプライアンス状況を完全に把握することが実質的に不可能であるため、このような開示要求に応えることは難しく、違反による罰則や罰金の危険にさらされているのが実状です。

SAS Enterprise GRCは、戦略上・業務遂行上のリスクを標準化して管理すると同時に、財務リスク管理システム(信用リスク、市場リスクなど向け)からの情報を集約し、全社的なリスクの全体像を把握するための統合プラットフォームです。このソリューションは、GRCの原則をビジネス目標や戦略実行と連携させることで、各GRC機能をガバナンスと信用の強化に結びつけます。

#### 主な利点

##### • すべてのGRC要素に単一のフレームワークを使用

リスク、統制、法規制、ポリシー、評価、損失データ、シナリオ、監査などのためのレポジトリを単一のフレームワークに統合し、リスク管理責任者、コンプライアンス担当責任者、監査担当者、経営者間の協業作業を促進します。また、ISO 31000やAS/NZリスク管理標準などの各種フレームワークで定義されたベストプラクティスの実践を可能にします。

##### • 意思決定の質の向上

リスク・エクスポージャーと債務の可能性を包括的に把握できるほか、ビジネス目標と戦略実行をより効果的に監視できるようにKPI(重要業績評価指標)およびKRI(重要リスク評価指標)を統合することで、意思決定の質の向上に貢献します。

##### • 好ましくない事態が突発する可能性を低減

戦略定義と戦略実行のプロセスがGRCフレームワークに組み込まれており、リスクが顕在化した時は包括的なアラートエンジンが早期警告を発します。

##### • GRCプロセスの効率を向上

一般的なGRCプロセスの自動化によってリスク管理責任者、コンプライアンス担当責任者、監査担当者の協業を促し、また、統制、KRI、リスク・エクスポージャーの継続的な監視を可能にすることで、GRCプロセス(リスク評価など)の重複を削減します。

##### • リスクに関連した損失の低減

単一のレポジトリでリスクに関連した損失をすべて捕捉・監視するほか、過去の損失を統制の失敗、原因、評価、KRIと紐づけることで過去の事例からの学習を促進します。

##### • 関係性についての360度の視野を獲得

ユーザーは、GRCオブジェクト間のつながりをワンクリックで閲覧し調査できるため、効率的な意思決定が促され、リスクとコンプライアンス違反に潜むエクスポージャーを予防的に監視できます。



THE  
POWER  
TO KNOW®

## ソリューション概要

SAS Enterprise GRCは、ビジネス戦略の実行をコンプライアンス/リスク管理と効果的に統合する手段を提供することで、絶えず変化するリスクへの対応を適切に管理し、企業ポリシーや法規制の遵守から最大の成果を達成できるよう支援します。

## リスク管理

一般的なフレームワーク(ISO 31000、AZ/NZS ISO 31000、COSO ERM、ISO 27001など)のベストプラクティスを用いて実施できるリスク管理の一般的な段階(リスクの識別、評価、対応、監視など)をすべてサポートしています。レポート機能の豊富なライブラリ(リスクヒートマップ、ダッシュボード、対話操作型グラフなど)により、重大なリスクを直感的に識別および監視することが可能です。

カスタマイズ可能なアラートエンジンによって、リスク・エクスポージャーの動向の監視を自動化し、早期アラートにもとづいて最も適切なリスク対策を予防的に選択できるようになります。

## GRC環境に対する360度の視野

重要なGRC要素(リスク、統制、ポリシー、法規制、KRI、損失イベント、問題、アクションプラン、評価、シナリオ、監査任務など)のすべてを相互に紐づけることができます。この相互関係により、あるGRC要素が他のGRC要素にどのような影響を与えているかを簡単に可視化できます。その結果、さまざまなGRC要素におけるサイロ思考を打破し、複数のGRCチーム全体による協業が促進されます。

## 経営管理ソリューションとの統合

GRCプロセスを戦略定義や戦略実行のプロセスと統合し、最適なビジネス戦略を策定することができます。これにはSAS Enterprise GRCとSAS® Strategy Managementを統合して実現します。また、SAS Enterprise GRCは、他の経営管理ソリューションとの統合も可能であり、優れた柔軟性を発揮します。

## ポリシー管理

エンド・トゥ・エンドの設定変更が可能なワークフローを通じて、コンプライアンス

担当責任者が各ポリシーの詳細情報、リソース、責任者、内容を文書化できます。このワークフローは、新しいポリシーの必要性の評価から、ポリシーの作成/伝達(周知徹底)/実施/監視/更新/破棄に至るポリシーのライフサイクル全体をサポートします。コンプライアンス担当責任者がポリシーをGRCオブジェクト(プロセスや責務、目標)に関連付けることも可能です。

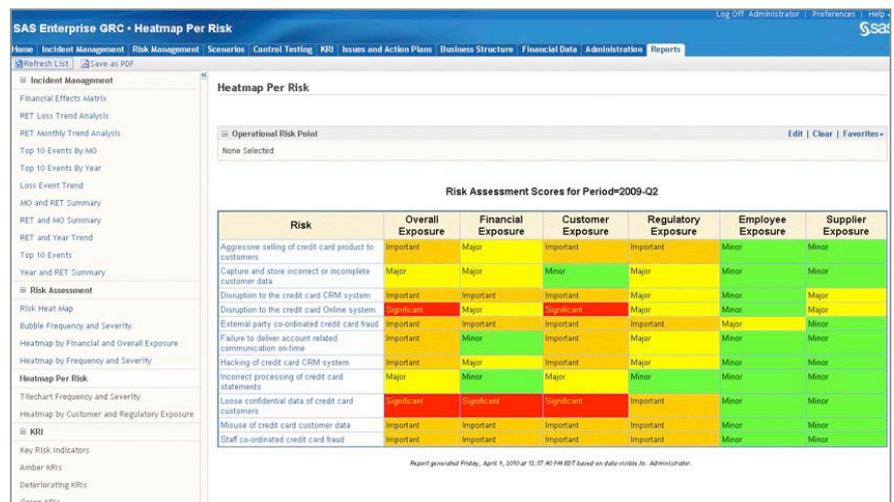
## インシデント管理

イベント、イベントの原因、失敗した管理統制、結果、保険/非保険による回収、緩和措置といった詳細情報も含めて、リスクおよびコンプライアンス関連のインシデントを管理できます。

## 監査管理

内部監査担当者が監査任務の作成のためのカスタマイズ可能なエンド・トゥ・エンドのワークフローを用いて、各監査に必要なとなる詳細、対象範囲、リソース、スケジュールを文書化することができます。監査担当者は、統制テストの結果を文書化し、承認ワークフローに載せることができます。さらに、監査担当者は12ヶ月間の監査予定を閲覧したり、監査結果にもとづいて行動計画を作成することも可能です。

このソリューションは、ステークホルダーに対して信頼性の高い保証をするために、監査人が必要とする以下の主要段階のすべてをサポートしています。



SAS Enterprise GRCによるリスク・エクスポージャーの評価



SAS Enterprise GRCのリスクダッシュボード

- 重大なリスク・エクスポージャーや統制上の弱点を抱える部署を識別し、監査リソースの投入先の優先順位を判断
- 監査計画と監査任務の定義と管理
- 手作業による統制テストの実施
- コンピュータ支援監査ツール(CAAT)を用いた統制テストの自動化
- 監査ポイントと問題の定義
- 各部署が実施している緩和措置の承認と監視
- すべての部署にわたってリスクの顕在化やリスク・エクスポージャーの変化を予防的に検知するためのアラートの定義と監視

#### 問題とアクションプランの把握と監視

ガバナンス、リスク管理、コンプライアンスのプロセスに関連した問題を把握し、監視することができます。確実に問題を解決するため、識別した問題について複数のアクションプランを定義して監視できます。

#### 継続的な GRC 要素の監視

社内の業務システムに含まれる以下のような GRC 関連情報を継続的に監視することができます。

- 統制パフォーマンス
- 重要リスク評価指標 (KRI)
- 重要業績評価指標 (KPI)
- 社内のその他の専用アプリケーションに含まれる GRC 情報

また、リスクの顕在化や不十分な GRC プロセスを予防的に検知するためのアラートを定義することも可能です。

#### 社外の損失データを参照できる

##### 広範なライブラリ

さまざまな公的情報源から収集して毎月更新される、経営リスク損失データの広範なライブラリを利用できます。これには、金融業界とそれ以外の業界からのデータの両方が含まれています。このライブラリは、新しいリスクの識別、ベンチマークによる同業者との損失比較、シナリオの作成、資本モデリングの実行などに活用できます。

## 主な機能

### リスク管理

- リスク管理の一般的な段階である識別、評価、対応、監視をサポート
- リスク管理の各段階を一般的なフレームワーク (ISO 31000、AZ/NZS ISO 31000、COSO ERM、ISO 27001 など) のベストプラクティスを用いて実装可能
- レポート機能の豊富なライブラリ (リスクヒートマップ、ダッシュボード、対話操作型グラフ など) により、重大なリスクを簡単に識別して監視
- カスタマイズ可能なアラートエンジンで、リスク・エクスポージャーの動向を自動的に監視

### GRC 環境に対する 360 度の視野

- 共通レポジトリで、重要な GRC 要素 (リスク、統制、ポリシー、法規制、KRI、損失イベント、問題、行動計画、評価、シナリオ、監査任務) をすべて相互にリンク可能

### 経営管理ソリューションとの統合

- SAS Enterprise GRC と SAS Strategy Management により提供される統合機能を用いて、GRC プロセスを戦略定義や戦略実行のプロセスと統合
- その他の経営管理ソリューションとの統合も可能

### ポリシー管理

ポリシーのライフサイクル全体をサポート

- 新しいポリシーの必要性の評価
- 新しいポリシーの作成
- 法規制、リスク、ガバナンス目標へのポリシーの対応付け (マッピング)
- ポリシーの新規作成および既存ポリシーの更新に対する承認
- ポリシーの新規作成および既存ポリシーの更新に対する認証
- 各ポリシーの伝達 (周知徹底) プロセスの管理
- プロセスと統制により、ポリシーの実施を文書化、管理、監視
- ポリシーの評価を定期的実施
- ポリシー違反の把握と監視
- 既存ポリシーの更新
- 既存ポリシーの廃止

### インシデント管理

- リスク関連およびコンプライアンス関連のインシデントを、イベント、イベントの原因、失敗した統制、イベントの影響または結果、保険 / 非保険による回収、緩和措置などの詳細も含めて把握

### 監査管理

- ステークホルダーに対して保証するために、監査実施者に必要となる主要段階のすべてをサポート
- 重大なリスク・エクスポージャーや統制上の弱点を抱える部門を識別し、監査リソースの投入先の優先順位を判断
- 監査計画と監査任務の定義と管理
- 監査任務の一貫として手作業による統制テストを実行
- CAAT を用いて統制テストを自動化
- 監査ポイントの定義と、監査任務の結果にもとづく問題の定義
- 各部署が実施している緩和措置の承認と監視
- 各部署にわたってリスクの顕在化やリスク・エクスポージャーの変化を予防的に検知するためのアラートの定義と監視

### 問題と行動計画

- ガバナンス、リスク管理、コンプライアンスのプロセスに関連した問題を把握および監視。確実に問題を解決するため、識別した問題について複数の行動計画を定義して監視することが可能

## システム要件

### クライアント環境

- Windows (x86-32ビット版): Windows XP Professional、Windows Server 2003 ファミリ、Windows Vista\*、Windows Server 2008

### サーバー環境

- AIX : POWER アーキテクチャによるバージョン5.3およびバージョン6.1
- HP-UX Itanium : HP-UX 11iv2 (11.23)、11iv3 (11.31)
- Linux x64 版 (EM64T / AMD64): RHEL 4 および 5、SuSE SLES 9 および 10
- Microsoft Windows (x86-32ビット版): Windows XP Professional、Windows Server 2003、Windows Vista\*
- Microsoft Windows (x64 ビット版、EM64T / AMD64): Windows XP Professional for x64、Windows Server 2003 for x64、Windows Vista\* for x64、Windows Server 2008
- Solaris SPARC 版 : バージョン9、10

\* 注意 : Windows Vista では、Enterprise Edition、Business Edition、Ultimate Edition をサポートしています。

### データベース要件

- Oracle 9、10、および 11G
- DB/2 9
- PostgreSQL 8.2.9

### サポート対象の Web ブラウザ

- Internet Explorer 7 および 8 (Windows XP Professional または Windows Vista\* 上で実行されるもの)
- Firefox 2.0 (Windows XP Professional、Windows Vista\*、または Linux (x86 版対応版 : SuSE または RHEL) で実行されるもの)

## 主な機能

### GRC に関する安心を確保

- 社内の業務システムに含まれる GRC 情報を継続的に監視
  - 統制パフォーマンス、KRI、KPI、その他の専用 GRC アプリケーションに含まれる GRC 情報を全社規模で継続的に監視
  - 上記の監視にもとづいてリスクの顕在化や不十分な GRC プロセスを予防的に識別するためのアラートを定義

### 外部の損失データの活用

- さまざまな公的情報源から収集した経営リスク損失データの広範なライブラリを利用可能。ライブラリには金融業界とそれ以外の業界のデータの両方が含まれ、データは毎月更新
- 損失データの広範なライブラリは、新しいリスクの識別やベンチマークによる同業者との損失比較、シナリオの作成、資金モデリングの実行などに活用可能

### サポート対象のアプリケーション・サーバー

- BEA WebLogic Server 9.2、10.3
- IBM WebSphere Application Server、6、7
- JBoss Application Server 4.2

### 対応言語

英語に加えて、以下の言語に対応しています。

- Chinese (Simplified, Traditional and Hong Kong SAR) 中国語(簡体字、繁体字、および香港 SAR)
- Japanese 日本語
- Korean 韓国語
- Arabic アラビア語
- Dutch オランダ語
- French フランス語
- German ドイツ語
- Hebrew ヘブライ語
- Italian イタリア語
- Polish ポーランド語
- Russian ロシア語
- Spanish (Castilian) スペイン語(カステリヤ語)
- Portuguese ポルトガル語
- Ukrainian ウクライナ語

## SAS について

SAS は、ビジネス・アナリティクス・ソフトウェアとサービスのリーディング・カンパニーであり、ビジネス・インテリジェンス市場においても最大の独立系ベンダーです。SAS は、高度な分析と将来予測を実現するフレームワークにもとづき、顧客企業の 50,000 以上のサイトに革新的なソリューションを提供しています。複雑な経営課題を解決するビジネス・ソリューションによって迅速で正確な意思決定を実現することで、顧客のパフォーマンス向上と価値の創出を支援します。1976 年の設立以来、「The Power to Know® (知る力)」を世界各地の顧客に提供し続けています。



THE  
POWER  
TO KNOW.

SAS Institute Japan 株式会社 [www.sas.com/jp](http://www.sas.com/jp)

[jpnasinfo@sas.com](mailto:jpnasinfo@sas.com)

本社 〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 11F  
大阪支店 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館 12F

Tel: 03 6434 3000 Fax: 03 6434 3001  
Tel: 06 6345 5700 Fax: 06 6345 5655